

6. 「21世紀型の退職金制度」の制度運用(前払い退職金)

確定拠出年金の積み上がりを補完、60才時点での現価を保障

従来の退職一時金制度(ポイント制)を活用



登用(昇格)のスピードにより支給額に格差

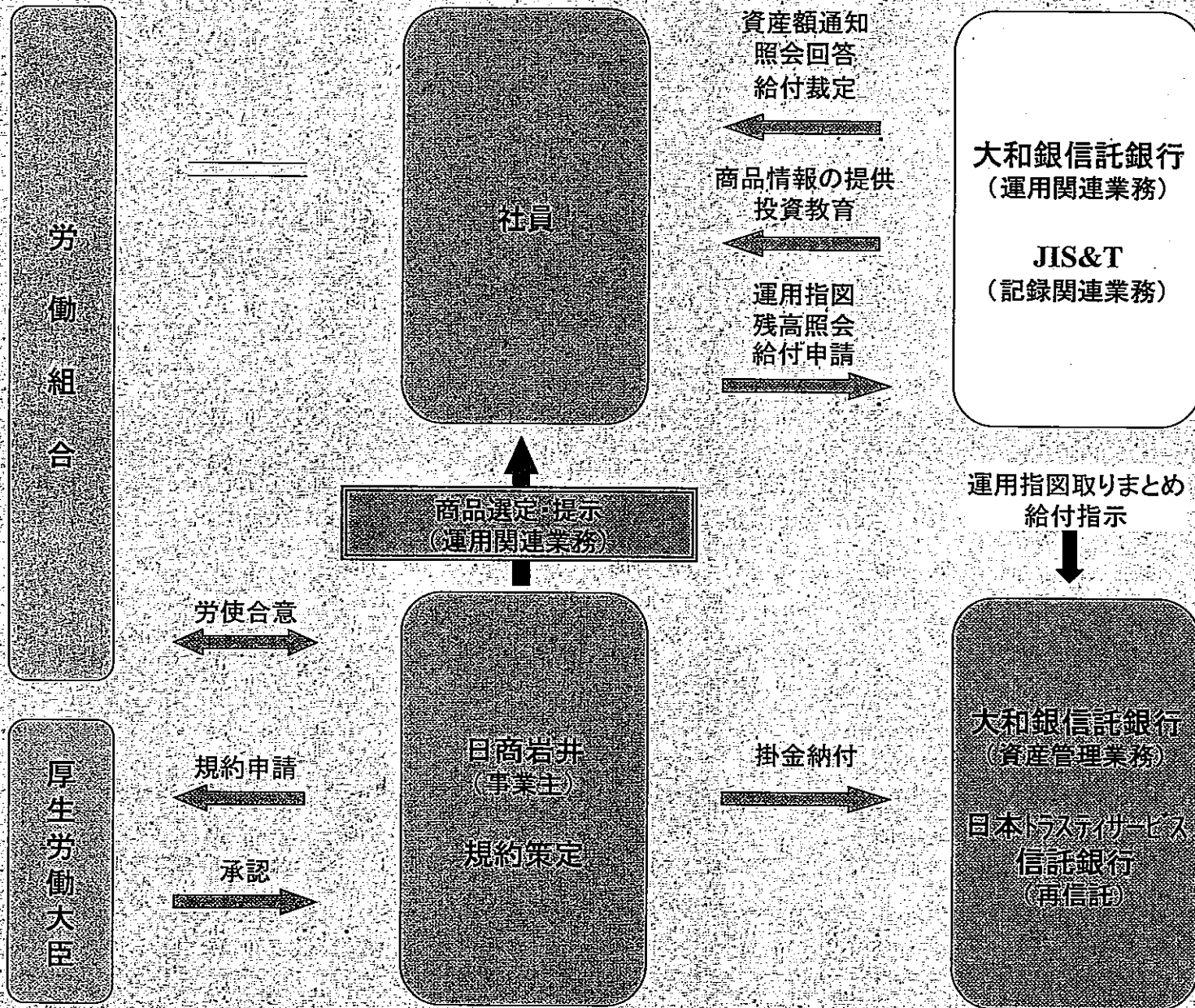


見なし税額相当(13%~25%)上乘せ



運用利回りは確定拠出年金と同じ2.5%を想定

7. 「21世紀型の退職金制度」の制度運営(確定拠出年金)



7. 「21世紀型の退職金制度」の制度運営(確定拠出年金)

給付の内容

- ①一時金
- ②5年～20年有期年金
- ③終身年金

もしくは、それらの組み合わせを自分で設定

受給権

- ①勤続3年以上で全額付与
- ②勤続3年未満は会社に返還

7. 「21世紀型の退職金制度」の制度運営(確定拠出年金)

コスト負担

- ①制度運営コスト ⇒ 会社負担
- ②資産運用コスト ⇒ 社員負担

掛金の推移

- ①従来の退職年金制度のポイントを利用
- ②勤続10年迄は、20,000円~34,000円で推移
- ③それ以降は36,000円で上限に貼り付き